FUJI WOMEN'S UNIVERSITY

No.76

Jul.20, 2023

藤女子大学
広　報

藤

(中) 2023年度入学式の様子

CONTENTS

- 巻頭言～世界ではばたく藤／2
- 【企画】2025年に迎える藤学園100周年に向けて
  ～5つの未来共創ビジョンと本学の取組み～／3
- 新入生が抱える不安について先輩に聞きました！／4
- 藤づる～繋がり～／12
- 地域社会との連携「園芸部の活動と抱負」／13
- サークル紹介～箏曲部～／13
- 授業・ゼミ紹介／14

巻頭言

世界ではばたく藤

学長　ハンス ユーゲン・マルクス

殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会総長Sr. ムッター マリア コルディス様（中）がドイツから来学されました（2023年5月25日）

コロナ禍で採用を控えていた航空業界が採用募集を徐々に再開する中、2023年の春、藤の卒業生はANA、JAL、AIRDOへの入社を果たしました。今回は新千歳・成田・羽田空港のグランドスタッフとしての採用のみでしたが、コロナ前の実績から、これからはキャビンアテンダントとしての羽ばたきも期待できるでしょう。

航空業界に限らず、卒業生の中には海外企業で働く方や、青年海外協力隊の活動に参加する方なども見られ、英語を実際に使うことができる人を求める各業界等のニーズにいっそう応えるため、2018年度以来、文学部では藤ACEプログラムを実施しています。まさしく「エース」として活躍できる人材の育成を目指しています。コロナ禍の収束に伴って、外国人観光客が増えてきていますが、観光通訳に挑戦するなど、現場体験も交えながら学びを深めています。

さらに、2003年度に日本語教員養成課程を開設して以降、日本語教師として活躍する人材を輩出し続けており、多くの卒業生が国内外問わず、外国の方々に日本語を教えることを通じて世界とつながっています。日本語教育の需要の高まりを受け、日本語教師の国家資格が創設されることになり、今後もますますの活躍が期待されるでしょう。

人間生活学部の3学科はそれぞれの分野の免許や資格の取得ができます。人間生活学科では、開学当初より家庭科教員の養成に力を入れています。北海道の私立大学で家庭科教員免許を取得できるのは本学だけです。新学習指導要領も始まり、現代にマッチした家政の教育内容にブラッシュアップしています。さらにプロジェクトマネジメントや社会福祉の知識も身に付けられ、石狩市をはじめとした地域と連携を取りながら体験的に多くの学びを得られるのが特徴です。

食物栄養学科は管理栄養士を養成していますが、現場経験のある教員達の豊富な知識に基づいた実践的な授業内容となっています。高校向けの出前授業なども行っていますが、栄養についての講義は、高校生からもわかりやすく栄養士の仕事がよく理解できたと評判です。学生食堂のメニューを企画したり、子ども食堂の運営をしたりするなどの学生主体の学びもできます。

子ども教育学科は、保育学科時代の保育士と幼稚園教諭・特別支援学校教諭の養成に加え、小学校教員の養成課程を新設し、今年度が完成年度です。小学校教諭経験者の教員による指導に加え、就学前後（幼児から児童）、さらに障がい児に関する知識までトータルで学ぶことができ、インクルーシブな環境で指導できる教員を養成できます。

卒業生から、在学時、ゼミ活動や就職活動などの場面で、教職員の方々に丁寧かつ親身に相談に乗ってもらえたことが印象的であったという感想を聞いています。過保護ではなく、教職員との良い意味での距離の近さは、家族や友達以外の人との接し方を学び、学生生活と社会を繋ぐ経験ともなりコミュニケーション能力の向上としても役立っていると思います。

藤の教育の効果は、よく「あとからじわじわくる」と言われます。社会人中堅者となったころ、会社等でサブリーダーとしての力を発揮し、職場を円滑にまとめてくれるとの企業からの評価もあります。また、雑誌『東洋経済』における「有名企業への就職に強い大学トップ200校」では、藤が継続して道内私立大学において第一位（2021年全国119位、2022年全国116位）にランキングされていることも嬉しく思っております。

企画 2025年に迎える藤学園100周年に向けて

～5つの未来共創ビジョンと本学の取組み～

第3回 世界ではばたく藤 ～国際理解・交流を深めます～

コミュニケーションの第一歩

ウボンラーチャターニー大学（タイ）教養学部　日本語コミュニケーション学科教員　**三嶋　久美子**

文学部 日本語・日本文学科 2011年卒業

私は現在、タイ東北部にある大学で日本語を教えています。日本語教師を目指すきっかけとなったのは、藤女子大学の日本語教員養成課程での海外実習です。台湾の大学へ行き、そこで初めて日本語を学ぶ人たちと向き合い、日本語を学びたい！という彼らのエネルギーを感じて、それに応えたいと強く思うようになりました。それからは留学生チューター、地域のボランティア教室、研修等を経て、大学を卒業後、日本語教師としてタイの高校や大学で計5年程教えた後、大学院へ進学しました。修士課程修了後、現在の勤め先でまた日本語教師生活を始めることとなりました。

現場では学生一人ひとりと向き合い、何を考えていて、何を伝えようとしているのか汲み取ろうと心がけています。それがコミュニケーションの第一歩なのではないかと考えているからです。日本語を使ったコミュニケーションを教える身として、その姿勢を学生にも示すことができていたらいいなと日々思っています。

あるとき、この感覚は大学で日本文学を学んでいたときと近いものがあるのではないかとふと気づきました。時代、環境、生活様式と、今とは何もかも違う人が書いた文章を読み、何を伝えようとしているのか考えていたあのとき、ある種のコミュニケーションの基礎に触れていたのかもしれません。今の自分にとって、とても大切な時間を過ごすことができていたのだなと思います。

ウボンラーチャターニー大学の日本語クラス

在学中の興味が現在の仕事に

上智大学非常勤講師　**太田 悠紀子**

文学部 英語文化学科 2007年卒業

2012年ノボシビルスク　書道デモンストレーションの様子

日本語教育業界に入り今年で12年目になります。現在は主に大学で日本語教師として、留学生向けの日本語の授業を担当する傍ら、複数の日本語教師養成学校で、音声学など言語学系科目全般の講義を担当しています。いくつもの仕事を掛け持っているとつい、目の前の仕事を片付けることに必死になってしまいますが、ご経験豊富な素晴らしい先生方、真面目で意欲的な学生たち、忙しい中目標を持って平日夜や週末に養成講座で勉強している受講生の方々から多くの刺激を受け、色々なことを学んでいます。

大学時代は日本語教育というより、純粋にことばやコミュニケーションの世界に興味を持っていました。卒業後は金融機関に勤めたものの、やはり大学で興味を持ったことを勉強したいという理由で英国大学院へ進学し、応用言語学を専攻しました。クラスメートの様々な言語に触れながら、日々日本語を分析する中で、世界の一言語としての日本語により興味が増していき、この時、大学時代に学んだ日本語教育を仕事として本格的にやってみたいと思うようになりました。帰国後は、ご縁がありロシアのノボシビルスクで日本語教師としてのキャリアをスタートさせました。

日本語の授業と養成講座の言語学系科目の講義、どちらにしても、兼業しているからこそできる、いい授業を追求していきたいと思っています。

新入生が抱える不安について先輩に聞きました！

文学部 英語文化学科

文学部 英語文化学科 4年　S.Nさん

基礎学力が不足しており、大学の授業についていけるか不安

基本的にクラス分けが行われ、少人数での授業が多いので、分からないことはすぐに聞ける環境が整っています。また、少人数であるため、友達との仲が深まりやすく、一緒に不安を共有し、乗り越えることができると思います。さらに、優しい先生ばかりで、質問にも親身に答えてくださるので安心してください。

課題や期限を自分で管理して準備・行動できるか不安

１年生のうちは特に必修の授業が多いため、その分課題も沢山ありますが、スケジュール帳に提出期限を書き込むことで把握しやすくなります。期限さえ把握していれば問題ありません。大学受験を乗り越えられた皆さんであれば、課題も難なくこなすことができると思います。

希望通りの就職ができるか不安

就職について不安に思う気持ちはすごく分かります。しかし、藤女子大学には就職活動をサポートしてくれるキャリア支援課があるので安心してください。どんな時でも親身に相談に乗ってくださる職員の方々がいらっしゃるため、就職に関する不安はすぐに解決できると思います。

先輩から新入生へ一言エール

改めてご入学おめでとうございます。私が伝えたいことは、大学4年間は本当に「あっという間」ということです。高校生活がコロナ禍で思うようにいかなかったかもしれませんが、その分大学で楽しんでくださいね。勉強だけではなく、サークルやアルバイトにも挑戦し、充実した大学生活を送れることを願っています。

文学部 日本語・日本文学科

文学部 日本語・日本文学科 3年　M.Nさん

学習時間が不足しており、大学の授業についていけるか不安

大学での授業の大半は、授業で扱う事柄について自分で考えていくものなので、高校の授業みたいに何かを覚えてテストを解くことが全てではないです。考えるための材料として覚えることも多少はありますが、一つ一つの授業を丁寧に受けていれば問題ないと思いますよ。

パソコン、スマホ、タブレット等を使いこなして学習を進めることができるか不安

私も最初は慣れなくて苦労をしましたが、回数をこなすうちに自然と慣れていきました。最初からいろいろなデバイスを使いこなせるようになる必要は無いと思います。授業を受ける中でだんだんと慣れていくことができるので、不安に思わなくても大丈夫ですよ。

4年間で卒業できるか不安

しっかり授業を受けて単位を取る、必修単位を落とさない、自分の取得単位を把握する、ということができていれば大丈夫です。単位を落とさないためには、提出物は期限内に出すこと、テストやレポートは準備をしてから取り組むこと、欠席日数に気を付けること、などに注意すればまず問題ないと思います。

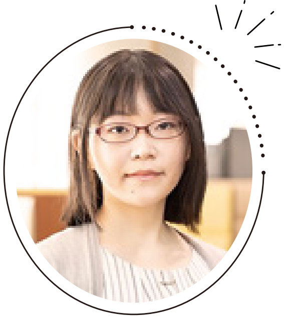
先輩から新入生へ一言エール

最初は、大学で何をやるかもわからず不安でいっぱいだと思います。ですが、高校までとは違って大学には学びを深める楽しさがあり、不安も次第に無くなっていきます。気を張りすぎず、自分が学びたいことを学べる状況を目一杯楽しむということを忘れないでほしいな、と思います。

本学が2023年度新入生を対象に行ったアンケートにおいて、「不安に感じている」という回答が多かった項目について、各学科の先輩方に後輩に向けたアドバイスをご寄稿いただきました。

文学部
文化総合学科

文学部 文化総合学科 3年　H.Aさん



様々なオンラインツールを使用して学習を進めることができるか不安

現在、藤女子大学ではGlexaという学習管理システムを使用しています。また、一部の授業ではZoomやGoogle Meetなどのオンライン会議システムを使用しています。最初は慣れるのに時間がかかるとは思いますが、操作方法などに関して分からないことがあれば、先生や周りの友人に相談してみましょう。

課題や期限を自分で管理して準備・行動できるか不安

スケジュール帳やメモ帳を使用すると管理しやすいかと思います。私はスマートフォンの手帳アプリを使用することで、スケジュール管理をしています。また、やるべきことには優先順位をつけるなどの工夫をしています。あくまでも一例ですので、自分に合う方法を見つけてみましょう。

友人ができるか不安

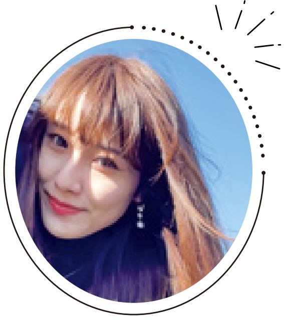
まずは、きっかけ作りをしてみると良いかと思います。私は同じゼミやサークルに所属している人に話しかけたりしていました。アルバイトやサークル、趣味など、相手との共通の話題を見つけることで、相手と仲良くなることができるかもしれません。あまり焦らず、まずは気軽に声をかけてみましょう。

先輩から新入生へ一言エール

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活にはもう慣れましたでしょうか。大学は学問の知識を深めるとともに、自分のやりたいことに挑戦できる環境でもあります。大学生活を送る際は、積極的に行動するよう心がけてみましょう。健康に気を付けて、楽しい大学生活をお過ごしください。

人間生活学部
人間生活学科

人間生活学部 人間生活学科 3年　K.Aさん



基礎学力が不足しており、大学の授業についていけるか不安

教養科目も専門科目も、一から優しく教えてもらえるので不安に思うことはありません！専門科目では初めて聞く用語や知識が増えると思いますが、優しい先生ばかりなので、分からないことがあれば授業時間の前後やオンライン上でもすぐに対応してくださいます。安心して大学での学びを深めてください。

パソコン、スマホ、タブレット等を使いこなして学習を進めることができるか不安

私も、元々機械操作があまり得意ではなかったのですが、様々な授業を受けているうちに自然とポータルサイトやGlexaの使い方が身に付きました。実際に自分でWebサイトを作ってみたり、Excelを用いた授業もあるので積極的に受講したりすると、パソコンなどの機械操作に慣れ、資料作りなども楽しく行えるようになります！

希望通りの就職ができるか不安

学内の就活ガイダンスでは、どの時期に何をしておくべきなのかが分かり、藤女子大学の就活支援サイト「F-NAVI」では求人情報やセミナーの情報が届きます。キャリア相談もあるので、これらのサポートを有効に活用すると不安もなくなると思います。意識を高めるためにも、まずは就活ガイダンスに積極的に参加することをお勧めします！

先輩から新入生へ一言エール

まだまだ慣れない大学生活だとは思いますが、新しい環境でさまざまな人と出会い、自分の楽しいと思える事を沢山見つけて欲しいです。大学生、そして藤女子の学生だからこそできることに沢山挑戦して、有意義な学生時代を過ごしてください！学内で会えた際には相談にも乗るので、声をかけてくれると嬉しいです♪

新入生が抱える不安について先輩に聞きました！

人間生活学部 食物栄養学科

人間生活学部 食物栄養学科 4年　K.Mさん

基礎学力が不足していて不安

専門科目が増えると内容が難しく不安になると思いますが、テスト前には友人と一緒に勉強をしたり、分からないことは先生に聞いたりすることで理解が深まると思います。特に、有機化学の分野は大切ですが、理解が難しいので1年生のうちにしっかりと勉強することで、国家試験対策にも役立つと思います。

様々なオンラインツールを使用して学習を進めることができるか不安

大学に入ってから初めて使用するツールには、慣れるまでドキドキするかと思います。まずは、先生方との連絡手段であるGmailとGlexaの機能を知り、使い方に慣れることがおすすめです。分からないことがあれば遠慮せずに先生方や先輩、FSA※に質問または相談してみてください。

4年間で卒業できるか不安

私も1年生の頃、単位を落とさないだろうか、ちゃんと卒業できるだろうか、と同じように心配していました。ですが、毎日の勉強を習慣にしてしまえば問題なく卒業できると思います。何か悩みごとがあるときは友達や先生など、周りの人に相談してみてください。私たちFSA※もお手伝いします！

※FSA（Fuji Student Assistant）：学生の主体的な学びをサポートするために創設された学生組織。

先輩から新入生へ一言エール

勉強はもちろんですが、サークルやアルバイトなど様々なことに挑戦して楽しんでください。みなさんには、いつでも親身に話を聞いてくださる先生方と頼りになる先輩方がいます。不安なことや疑問に思ったことは一人で抱え込まず、周りの人に話してみてください。目標に向かって4年間頑張ってください。応援しています！

人間生活学部 子ども教育学科

人間生活学部 子ども教育学科 3年　N.Aさん

学習時間が不足しており、大学の授業についていけるか不安

まずは授業に確実に出ることです！そのうえで分からない内容は大学で友達に聞いたり、授業後に振り返り等がある場合にはそこで質問したりすると、先生方は丁寧に答えてくださいます。大学外での時間が取れないのなら、授業中と大学にいる時間でいかに深く理解するかが大切です！

課題や期限を自分で管理して準備・行動できるか不安

私はスマホのリマインダー機能を使っています。課題が出たら提出期限と一緒に記録し、1日に1回は見るようにしています。課題の多い時期は友達と次の日の提出物を忘れていないか確認します。また、時間がかかる課題は移動時間や隙間時間にアイディア出しや構成決めなどを行い、少しずつでもメモをとるようにしています。

友人ができるか不安

私も最初はなかなか友達ができませんでしたが、子ども教育学科は明るくフレンドリーな学生が多く、体育などグループで活動する授業も多いので、気付けば自然にいろいろな人と話せるようになっていました。ほかにも同じように不安に思っている人はたくさんいるはず！安心して大丈夫です！

先輩から新入生へ一言エール

大学生はとにかく自由です！少しでも「やってみたい」「興味がある」ことがあれば全てやってみるべきです。大学生活はあっという間に過ぎていきます。ぜひ未来の自分が後悔しないように、今できることを精一杯やって充実したものにしてください！しっかり勉強しながら、たくさん遊びましょう！

大学院 新入生へのエール

ようこそ！
人間生活学専攻へ！

人間生活学研究科
人間生活学専攻 2年
K.Kさん

研究への熱意とともに入学された皆さんを心より歓迎いたします。私も昨年、学びたい一心で学校を休職、一家転住し大学院へ入学いたしました。大学院では異年代の友人ができ、先生方の丁寧なご指導と仲間との学び合いによって、自分の研究関心であった日本の教育と自分の生活を新たな視点を持って見ることができました。歳月人を待たず。

皆さんにとりましても研究が実りあるものとなるよう願っております。共に学びましょう！

新任教職員紹介

文学部
英語文化学科
講師
ミア ティッロネン
（2023年4月1日付）

［専門分野］
観光学、宗教学
［好きな言葉］
Non scholae sed vitae
（私たちは学校のためでなく、人生のために学んでいる）

文学部
日本語・日本文学科
講師
野澤 涼子
（2023年4月1日付）

［専門分野］
近現代文学、国語教育
［好きな言葉］
たとひわれ死のかげの谷をあゆむとも禍害をおそれじ

人間生活学部
人間生活学科
教授
大友 芳恵
（2023年4月1日付）

［専門分野］
社会福祉（貧困、ソーシャルワーク、高齢者福祉）
［好きな言葉］
一期一会

人間生活学部
人間生活学科
准教授
加藤 聖子
（2023年4月1日付）

［専門分野］
福祉教育
［好きな言葉］
幸せはいつも自分の心が決める

人間生活学部
食物栄養学科
講師
八島 絵美
（2022年9月1日付）

［専門分野］
応用栄養学
［好きな言葉］
覚悟

人間生活学部
食物栄養学科
講師
篠原 翠
（2022年9月1日付）

［専門分野］
スポーツ栄養学・臨床栄養学
［好きな言葉］
1日3食しかないんだから美味しいもの食べたいよね（友達が言った言葉です）

事務局
総務課
熊澤 達
（2023年4月1日付）

［好きな言葉］
一を以て之を貫く

事務局
企画広報室
佐藤 優芽
（2023年4月1日付）

［好きな言葉］
好きこそものの上手なれ

退職教職員

※所属・職名・氏名（研究分野） 2023年3月31日付

文学部	英語文化学科	講師	マーティン マーフィー	（コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング（CLT））
文学部	日本語・日本文学科	教授	種田和加子	（日本文学、美術史）
文学部	日本語・日本文学科	教授	水口 幹記	（日本文学、日本史）
人間生活学部	人間生活学科	教授	内田 博	（思想史、ヨーロッパ史、アメリカ史、理論経済学）
人間生活学部	人間生活学科	教授	小沼 春日	（社会福祉学）
人間生活学部	人間生活学科	准教授	丸山 正三	（社会福祉学）

心よりご冥福をお祈りいたします。

元藤女子大学文学部英語文化学科
教授 **川上 美津子 様**

2022年12月24日ご逝去 85歳
1985年藤女子短期大学助教授として着任。1986年藤女子短期大学英文科教授、2000年藤女子大学文学部英語文化学科教授。2008年3月に定年退職。在職中は、1992年〜1996年藤女子短期大学英文科主任を併任し、長年に亘り本学を支え、学生の教育にご尽力頂きました。

元藤女子短期大学図書館
職員 **Sr.M.アンジェリス林七枝 様**

2023年1月16日ご帰天 95歳
1966年藤女子大学事務局教務課職員として勤務。1982年退職。その後、1989年藤女子短期大学図書館職員として勤務し、1991年3月退職。

元藤女子大学営繕室
職員 **北岡 富弥 様**

2023年3月27日ご逝去 99歳
1953年から藤女子高等学校に勤務、その後、1969年からは藤女子大学営繕室職員としても勤務し、1987年6月退職。在職中は、当時の校舎の建築設計などにご尽力頂きました。

「藤女子大学の国際交流」

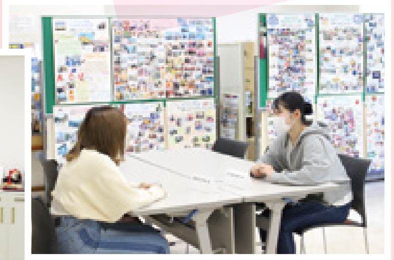
グローバル教育センター主催
留学報告会・相談会を実施しました。

2022年8月、2年半ぶりに本学の海外派遣留学が再開され、カナダや韓国の協定校での学びを経験した学生が帰国しました。グローバル教育センターでは、このタイミングで久しぶりの「留学報告会・相談会」を実施しましたので、ご報告します。留学報告会では、留学した学生が現地の経験を、写真を多用した色鮮やかなスライドを使って報告してくれました。

引き続いての相談会では、これから留学したいと考えている在学生が、経験者に直接質問をし、留学準備や現地生活に関するアドバイスをもらいました。キャッシュレス時代とは言え、韓国で現金を使う機会は思ったより多いといった、現地に住んでみたからこそ分かるコメントや、留学を経て大学の学びに対する姿勢が変わったことなど、貴重な経験が共有されました。

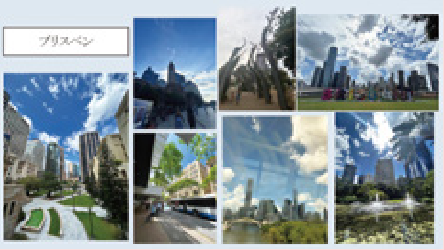
今回はZoomを通じて、現在オーストラリアや韓国に留学中の学生にも、報告会や相談会で現地のお話をしてもらいました。通信技術の発展により、こうして気軽に留学中の方とお話ができるようにもなり、留学がより身近に感じられるようになったのではと思います。

グローバル教育センターの窓口では随時、職員による留学相談も受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。



グローバル教育センター内での相談会
センターには帰国後に学生が作成した、留学のポスターをたくさん掲示しています。

韓国の食事風景



オーストラリア・ブリスベンの街並み

藤女子大学
未来共創フォーラム 2023

第1回 2023年9月10日（日）
藤女子大学 北16条キャンパス

調理室を利用したクッキングと試食

講師 谷口 まどか氏（管理栄養士）

第2回 2023年10月8日（日）
藤女子大学 花川キャンパス

※花川キャンパス大学祭「藤花祭」と同時開催

大学と社会を接続するプロジェクトマネジメント

講師 杉村 逸郎氏（北海道大学産学・地域協働推進機構）
外崎 由香氏（北海道カラーデザイン研究室）
七戸 千絵氏（（株）セントモニカ）

※詳細につきましては、大学ホームページにてご案内予定です。

藤女子大学
まちかど CONNECT

紀伊國屋書店札幌本店1階のインナーガーデンを使用し、本学教員が自身の研究内容に則したテーマで講義を行います。学びの機会としてぜひご活用ください。

第1回目 **2023年8月19日（土）**

「廃墟にはどんな魅力があるのだろう?」

講師 文学部 文化総合学科
松村 良祐 准教授

第1回目のお申込みはこちらから

※なお、第2回目は2023年10月29日（日）（講師：人間生活学部 食物栄養学科 奥村 昌子 准教授）、第3回目は2024年2月25日（日）（講師：人間生活学部 子ども教育学科 稲實 順 教授）を予定しています。詳細につきましては、大学ホームページにてご案内予定です。

NIGHT OPEN CAMPUS

平日夜のミニオープンキャンパスを開催いたします。
大人の皆様向けに、本学教員が模擬講義を行います。
ご興味のある方はぜひご参加ください。
卒業生の方も大歓迎です。お待ちしております！

日時：2023年8月4日（金）18:00 ～ 19:30（受付開始17:30）
会場：藤女子大学 北16条キャンパス
対象：社会人、保護者

プログラム
- 本学教員による模擬講義
- キャンパスツアー

模擬講義講師
- 文学部 文化総合学科 松本 あづさ 准教授
- 人間生活学部 子ども教育学科 小山 和利 教授

※講義内容や予約フォームなどの詳細については、本学ホームページにてご確認ください。
※定員数は30名程度です。期間内（7月中旬～ 8月1日）にお申込みください。
※高校生以下の方で参加を希望される場合は、保護者の方と一緒にお申し込みください。

詳細はこちらから▶

広報藤読者アンケート ―集計結果とお礼―

広報藤第75号に同封してアンケートをお願いしましたところ、保護者の皆様を中心に45名の方々にご回答いただきました。指標となる貴重なご意見を、誠にありがとうございました。

とりわけ、広報藤を「とても楽しみ」にされている方々が46.7%、毎回の広報藤を「全て」読まれている方々が55.6%という結果でした。広報藤に求められている内容で多かったのは、「学部・学科やゼミ等の授業紹介」、「就職活動の様子・キャリア支援」、「卒業生の声」についてでした。また、10名の方々からは、ご意見・ご要望等を自由記載にてお聞かせいただきました。

お寄せいただいたご回答やご意見は、今後の広報藤の制作において活用させていただきます。アンケートにご協力いただきました皆様に改めてお礼申し上げます。

【広報藤読者アンケート集計結果】

問1 広報藤を楽しみにしていただけていますか？

a. とても楽しみ ……………………21名（46.7%）
b. 記事による ………………………19名（42.2%）
c. あまり楽しみではない …………5名（11.1%）
d. 楽しみではない …………………0名（0%）

問2 広報藤は主にどなたが読まれていますか？（複数回答可）

a. 在学生 …………………………17名（37.8%）
b. 在学生の保護者 ………………37名（82.2%）
c. 在学生の兄弟姉妹、祖父母、等（その他の家族） …5名（11.1%）
d. 卒業生 ……………………………2名（4.4%）
e. 高校教員 …………………………1名（2.2%）
f. 大学関係者（本学関係者を除く）1名（2.2%）
g. 本学関係者（旧教職員含む） …2名（4.4%）
h. 上記以外 …………………………0名（0%）
i. 読まない …………………………2名（4.4%）

問3 広報藤の内容をどのくらい読まれていますか？

a. 全ての内容 ………………………25名（55.6%）
b. 興味のある内容のみ ……………15名（33.3%）
c. 手に取る程度 ………………………4名（8.9%）
d. 全く読まない ………………………1名（2.2%）

問4 広報藤を通じて知りたい情報は何ですか？（複数回答可）

a. 学部・学科やゼミ等の授業紹介 ………32名（71.1%）
b. 学生の日常生活（授業やアルバイト等の課外活動など） 24名（53.3%）
c. 留学や国際交流 ……………………10名（22.2%）
d. クラブ活動 …………………………14名（31.1%）
e. 就職活動の様子・キャリア支援 ………30名（66.7%）
f. 卒業生の声 …………………………25名（55.6%）
g. 教員・教育内容 ……………………14名（31.1%）
h. 公開講演会等の大学行事 …………11名（24.4%）
i. その他 ………………………………1名（2.2%）

大学へのご支援ありがとうございます

藤女子大学の寄付募集活動は、みなさまの温かいご支援により、2012年度からの累計が1億9千万円に達しました。寄付募集につきまして深いご理解とご協力を心よりお礼申し上げ、ここに感謝の意を表しご芳名を掲載させていただきます。

寄付者ご芳名（第21回）　期間　2022年10月1日～2023年3月31日（敬称略・お申込順）

〈保護者〉
匿名　2名
計　2名

〈卒業生〉
金﨑　高子　上森　和子　髙田　礼子　新井田幸子　永渕　昭枝　佐藤　桂子
長南　幸子　福田　雅子　名取江里子　畑　美智子　岡　まち子　三浦　育子
中嶋　真理　山本　京子　根本　祐子　坂上　真子　匿名　10名
計　26名

〈教職員・役員〉
永田　淑子　佐々木壽幸　山崎　玲子　福原　直樹　木村　晶子　匿名　1名
計　6名

〈旧教職員・旧役員〉
小林　三樹　箱山富美子
計　2名

〈その他、法人等〉
阿部　和男
藤の実会
(株) 木村工務店 代表取締役社長 木村 和仁
計　3名

計39件　2,476,753円

2012年度実績：377件　12,081,866円
2013年度実績：277件　17,413,757円
2014年度実績：191件　76,223,954円
2015年度実績：181件　6,402,354円
2016年度実績：179件　16,758,365円
2017年度実績：153件　10,983,201円
2018年度実績：126件　13,001,473円
2019年度実績：139件　16,256,260円
2020年度実績：141件　15,455,587円
2021年度実績：135件　4,570,376円
2022年度実績：120件　6,384,554円

2012年4月～2023年3月末までの累計　195,531,747円

■大学への寄付実績・使途のご報告

2022年度大学への寄付受入　実績報告（2022年4月～2023年3月末）

総計　120件　6,384,554円

〈内訳〉

卒業生	80件	2,805,000円
保護者	14件	390,000円
旧教職員、役員等	7件	140,000円
教職員、役員等	11件	621,753円
その他	8件	2,427,801円

藤学園創立100周年記念事業へのご寄付ご芳名（第3回）　期間　2022年10月1日～2023年3月31日（敬称略・お申込順）

〈卒業生〉
菅原　真紀
計　1名

〈その他、法人等〉
吉野　義治
計　1名

計2件　50,000円

2021年度実績：1件 50,000円　2022年度実績：9件 240,000円　**2021年4月～2023年3月末までの累計　290,000円**

2022年度寄付金総計6,384,554円のうち、3,000,000円をキノルド奨学金引当特定資産の積立金へ、残りの3,384,554円を資産取得引当特定資産の積立金へ充当することといたしました。施設設備の拡充のため積立金を使用する際には、別途ご報告いたします。

現在、学生支援体制のさらなる充実のため、新しい奨学金制度の創設に向けて準備を進めております。今後とも、ご支援をいただければ幸いでございます。

「事業報告書」及び「決算（計算書）」はこちらからご覧いただけます。

藤学園HP
財務情報・事業報告書

2022年度『学生部長賞』

※受賞時の学年を記載しています。

◆柔道同好会　◇文学部 日本語・日本文学科 2年 吉田 好初さん

1人で柔道同好会を立ち上げ、「令和4年度北海道学生柔道体重別選手権大会」において道内大会を勝ち抜き、全国大会に進出した功績が評価されました。

大会入賞の記録

第32回 YOSAKOIソーラン祭り
●セミファイナル審査 優秀賞
YOSAKOIソーランチーム

札幌市との連携

札幌市広報テレビ番組「ウオッチング札幌NEXT100」（TVh）にて、藤女子大学の学生がリポーター・学生ウオッチャーズ役として2023年度も活動することになりました。本番組では夢に向かってひた走る学生たちが、市内のイベントや施設など、札幌の「今」を若い世代の視聴者に向けて楽しく発信しています。ぜひご覧ください。【毎月第1・第3日曜日17時15分からTVh（テレビ北海道）で放送中！】

札幌市ホームページより、過去の放送もご覧いただくことができます。また、番組公式インスタグラム（@watchingsapporo）にて番組撮影の様子や、出演する学生リポーター「ウオッチャーズ」の撮影した写真などを「#ウオッチング札幌NEXT100」のハッシュタグで公開しています。

ウオッチング札幌NEXT100

2022年度　藤女子大学・大学院　進路就職状況

最新情報は本学HPに掲載いたします。

本学HP
【就職実績・就職先一覧】

〈大　学〉

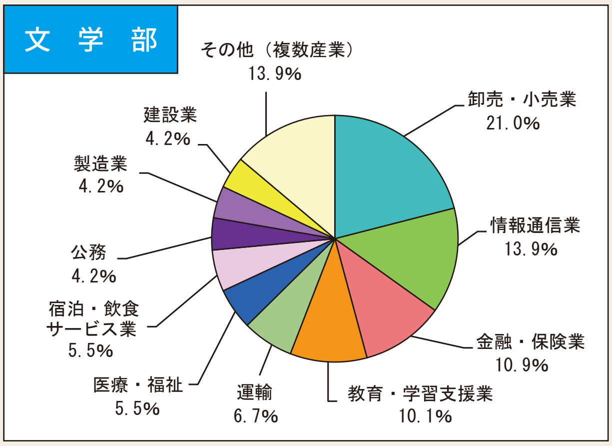
2023年5月1日現在

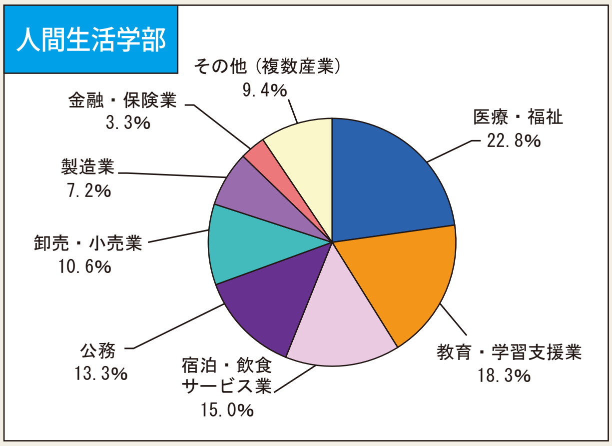
		卒業者数※1	卒業後の進路					
			進学		就職			その他※2
			希望数	決定数	希望数	決定数	就職率	
文学部	英語文化学科	90	5	4	79	77	97.5%	6
	日本語・日本文学科	86	0	0	81	77	95.1%	5
	文化総合学科	98	3	2	88	84	95.5%	7
	学部計	274	8	6	248	238	96.0%	18
人間生活学部	人間生活学科	55	3	3	52	49	94.2%	0
	食物栄養学科	75	2	2	73	69	94.5%	0
	保育学科	68	2	2	63	62	98.4%	3
	学部計	198	7	7	188	180	95.7%	3
合計		472	15	13	436	418	95.9%	21

		就職先内訳							
		企業等		専門職(福祉・栄養・保育)		教員		公務員	
		希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
文学部	英語文化学科	76	74	－	－	0	0	3	3
	日本語・日本文学科	66	64	－	－	10	10	5	3
	文化総合学科	76	74	－	－	7	6	5	4
	学部計	218	212	－	－	17	16	13	10
人間生活学部	人間生活学科	32	29	11	11	7	7	2	2
	食物栄養学科	28	27	34	33	2	2	9	7
	保育学科	6	6	21	21	20	20	16	15
	学部計	66	62	66	65	29	29	27	24
合計		284	274	66	65	46	45	40	34

※1：年度途中の卒業者を含む。※2：主婦・社会人入学者を含む。

〈就職先産業別比率〉





〈大学院〉

人間生活学研究科	修了者数	修了後の進路				
		進学		就職※		その他
		希望数	決定数	希望数	決定数	
人間生活学専攻	1	0	0	0	0	1
食物栄養学専攻	2	0	0	1	1	1
合計	3	0	0	1	1	2

人間生活学研究科	就職先内訳							
	企業等		専門職（福祉・栄養）		教員		公務員	
	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
人間生活学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
食物栄養学専攻	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	0	0	0	0	0

※社会人（職場復帰）を含む。

〈主な就職先一覧〉

文学部

【建設】北海道セキスイハイム/フルテック
【製造】柳月/ケイシイシイ/ロバパン/サティス製薬
【電気・ガス】北海道電力/北ガスフレアスト
【情報通信】エフエム・ノースウエーブ/ディスカヴァー・トゥエンティワン/ＮＴＴドコモ/日本アイ・ビー・エムデジタルサービス
【運輸】ＡＮＡ新千歳空港/ＪＡＬスカイ札幌/ＡＩＲＤＯ/北海道旅客鉄道/ニチレイ・ロジスティクス北海道/新日本海フェリー
【旅行】東武トップツアーズ
【卸売・小売】北海道酒類販売/ナイキジャパン/ニトリ/イオン北海道/アイングループ/セコマ/ レッドブル・ジャパン
【金融・保険】北洋銀行/北海道銀行/日本銀行/三井住友信託銀行/北海道労働金庫/東京海上日動火災保険
【不動産・リース】札幌駅総合開発/みずほ丸紅リース
【宿泊・飲食】鶴雅グループ/ＪＲ北海道ホテルズ/ホテルモントレ/スターバックスコーヒージャパン/ＡＮＡケータリングサービス
【生活サービス他】札幌市農業協同組合（ＪＡさっぽろ）/コープさっぽろ
【医療・福祉】地域医療機能推進機構/北海道国民健康保険団体連合会/イムス札幌消化器中央総合病院
【教育】北海道教育委員会/札幌市教育委員会/札幌医科大学
【公務】国土交通省 気象庁/法務省 出入国在留管理庁/防衛省 北海道防衛局/北海道庁/札幌市/旭川市/苫小牧市/北海道警察

人間生活学部

【建設】タマホーム
【製造】ブルドックソース/六花亭/マルハニチロ北日本/ベル食品/マツオインターナショナル/もりもと
【電気ガス】旭川ガス/東電タウンプランニング
【情報通信】ＮＤＰマーケティング
【運輸】ニチレイ・ロジスティクス北海道
【卸売・小売】イオン北海道/ツルハ/サッポロドラッグストアー /ムトウ/コープフーズ/サザビーリーグ/住友建機販売
【金融・保険】北海道銀行/伊達信用金庫/遠軽信用金庫
【宿泊・飲食】日清医療食品/ＬＥＯＣ/エームサービス
【生活サービス他】コープさっぽろ/道央農業協同組合/ つうけんアクト
【医療・福祉】高齢・障害・求職者雇用支援機構/北海道循環器病院/北海道農業団体健康保険組合/大阪福祉事業財団/手稲渓仁会病院/大川原脳神経外科病院/ノテ福祉会/麦の子会/札幌南藻園/興正学園/黒松内つくし園/双葉こども園/太平保育園/丘珠ひばり保育園
【教育】北海道教育委員会/札幌新陽高等学校/飛鳥未来高等学校/藤幼稚園/新川幼稚園/カトリック聖園こどもの家/ひばりが丘明星幼稚園/さっぽろ青少年女性活動協会
【公務】北海道庁/札幌市/千歳市/苫小牧市/北見市/南幌町/東川町/弟子屈町

2022年度卒業生の就職率は、コロナ禍以前と変わらない9割を越える結果となりました。コロナ禍3年目で就職活動を迎えたこの代は、オンライン対応に慣れており、リスク管理能力にも長けています。不安の声が多かったのは「ガクチカ（＝大学生時代に力を注いだこと）が無い」ことです。アルバイトやサークル活動が充分にできず、題材がないとの相談を受けました。一方で、オンライン授業であっても、学生の本分である学業に真剣に取り組んできたことが分かりました。やるべきことにしっかり取り組む姿は、在宅勤務が浸透し自律が求められる社会において評価されることを伝え、不安を取り除きました。昨今の学生の傾向として、就職先に対する価値観の多様化が挙げられます。大手志向だけでなく、SDGsへの貢献度、柔軟な働き方ができるか等、一人ひとり求めるものは異なります。変化し続ける社会や学生ニーズに応え、それぞれが望む進路を叶えられるよう、引き続き支援を続けてまいります。

藤づる ～繋がり～

しなやかで長く強い藤づる。
それは藤の学生、卒業生、教職員を繋ぐ絆のよう。

2023年5月3日、本学卒業生の戸田のり実さんが代表を務める株式会社シェアドアが主催するイベント「札幌マルシェ」の第４回が札幌市民交流プラザにて開催されました。同じく卒業生で、戸田さんと共にイベントの運営に携われた太細真弥さんから、「母校である藤女子大学で学生ボランティアを募集したい」とご提案いただいたことをきっかけに、在学生１名が運営ボランティアとして本イベントに参加しました。

左から戸田さん、Sさん、太細さん

イベント制作／
フリーアナウンサー
太細　真弥
文学部 文化総合学科
2016年卒業

マルシェを通じ、多様な女性との懸け橋を目指す
～藤の学生がイベントスタッフとして活躍～

「札幌マルシェ」会場の様子

5月3日、“女性の飛躍を応援！”がコンセプトの「札幌マルシェ」というイベントを開催しました。

今回で4回目となった本イベントでは、アクセサリーや洋服、お菓子などの作り手や、インストラクターとして活動する方等、70組以上の女性たちが集まり、物販等を行いました。主催した株式会社シェアドア代表の戸田のり実さんと私は藤女子大学出身。出会いは卒業後でしたが、「女性はこうあるべき」という意識に縛られることなく、“自分らしく能力を発揮できる環境を作りたい”という想いが双方にあり、意気投合しました。そんな私たちに共感する母校の学生がいるのではないか？と考え、学生課の協力を得て、運営ボランティアを募りました。

手を挙げてくれたS.Yさんは、以前、私が卒業生として学科の授業で講演をした際に、個別で連絡を頂き、面識がありました。講演では、「自ら動くことの大切さ」を伝えていたので、彼女の行動力を嬉しく思いました。当日は、準備や撤収の他、受付業務をお願いしました。出店者・来場者、どちらとも明るくコミュニケーションを取り、幅広い世代の女性たちと関わりながらイベントを支えてくれました。

私自身、学生時代に多くの働く女性と関わる機会があったことで自分の将来像を描けた経験があります。今後もこうした機会を通じ、在学生の皆さんに多様な働き方や生き方、活躍の場を共有していくことが出来ればと思います。

文学部
文化総合学科 3年
S.Yさん

「つながり」を大切に

札幌市民交流プラザにて開催された第4回「札幌マルシェ」に、私は学生ボランティアとして参加させていただきました。学内のポスターに興味を持ったことがきっかけだったのですが、のちに本学OGの太細真弥さんも参加されると知り、とても嬉しかったことを覚えています。

太細さんと初めてお話ししたのは、あるセミナーに参加したときのことです。以前本学のキャリア説明会で講演された際に、ご自身がMCを務めるセミナーの紹介もされていました。「人とのつながり」を大切に、積極的に行動したことで夢を叶えられたとの話に感銘を受け、色々な方のお話を聞いてみたいと思っていた私はそのセミナーに参加してみることにしました。終了後、勇気を出して「藤女子大学の学生なんです」と声を掛けさせていただくと、快く応じてくださいました。これが私と太細さんの「つながり」のはじまりです。

マルシェ当日は主に、受付業務を手伝わせていただきました。来場者数が過去4回の中で最多という盛況ぶりで、とても濃く充実した一日となり、皆が笑顔でマルシェを終えることができました。主催者の戸田さんは女性の活動支援のため、イベントの開催や起業をされています。このように自分の「やりたい」を追求してきた素敵な方々とお会いできたことは、貴重な経験となりました。

太細さんはじめ、様々な方とのご縁に感謝するとともに、これからもこのつながりを大切にしていきたいと思います。

地域社会との連携

園芸部の活動と抱負

町内会の方々から苗が贈呈されました

園芸部 部長
文学部
英語文化学科 2年
S.Yさん

私たちは現在、2年生6名で活動しています。昨年、園芸同好会として大学内の駐車場の花壇の草取り作業から始まり、大学関係者の多くの方々に気にかけていただきながら、北16条キャンパス内の冬囲いを体験、現在は園芸部に昇格し、より一層活動に励んでいます。

そんな中、今回、街路樹下の美化活動のお話をいただき、挑戦してみたいと思いました。ただ、私たちにとっては初めての試みであったため、活動に上手く関わることができるか不安でしたが、町内会の方々が温かく迎えてくださり、ホッとしました。協力して草取りや土起こし作業を行ったり、町内会からいただいた札幌市の歩道美化事業の一環として提供された50株ものマリーゴールドを花壇に植え付けたりするなど、楽しく充実した時間を過ごすことができました。現在、黄色い花を愛でながら、水やりに励んでいます。

今後も、地域の方々との繋がりを大切に、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、様々な活動に挑戦していきたいです。今回の美化活動でお世話になった皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

まずは、10月の藤陽祭での出店を目標として、力を合わせて頑張ります!!

マリーゴールドの植え付け作業の様子

サークル紹介

箏曲部

部員数：11名　（2023年6月時点）
活動場所：北16条キャンパス旧館5階
Instagram：@fuji_sokyoku
Twitter：@fujikotogirls

初めまして、藤女子大学箏曲部です！

箏曲部 部長　文学部 文化総合学科 3年　M.Eさん

皆さんこんにちは！藤女子大学箏曲部です。私たち箏曲部は日本の伝統楽器である「お箏」を演奏する部活です。現在、1年生1名、2年生2名、3年生8名の合計11名が在籍しており、ほぼ全員が未経験から始めました。中には音楽経験が一切ない状態から始めた部員もいます。普段は週に1回、先生のご指導のもとお稽古や全体練習をしており、その他の日は各自で自主練をしています。

4月末には、以前から交流のあった北海道大学邦楽研究会の方々との合同演奏会を、3年ぶりに開催しました。先輩方が卒業してしまったことにより、部内に合同演奏会を経験したことがある部員が一人もいなかったため、スムーズに準備や運営が進まなかった時もありましたが、当日は約80名のお客様が会場に足を運んでくださり、部員一同とても良い経験になりました。今年度の反省を忘れず、これから部活の中心となる下級生たちに引き継いでいきたいと思っています。また、今年の10月には大学祭での演奏、11月頃には箏曲部単独での定期演奏会も予定しています。昨年度から徐々に活動が再開され、まだまだ手探りのところが多いですが、部員同士で助け合いながら日々楽しく練習しています。

活動についてのご質問や入部のご相談等、いつでもお待ちしております。これからも藤女子大学箏曲部をどうぞよろしくお願いいたします！

授業・ゼミ紹介!!

人間生活学部 人間生活学科 田中ゼミ（担当教員：田中 宏実 先生）

受講生

人間生活学部
人間生活学科 3年
O.Rさん

Q1：田中ゼミではどのような学びや取り組みを行っていますか？

現在「子どもの遊び環境」「住まいと福祉」についての文献講読を行っています。この活動は住居学を学び、さらに情報を要約し伝える力を養い、4年生の卒業論文執筆にも繋がっていきます。その他、お花見、まちづくり活動への参加、見学会、大学祭出店、スウェーデンソングコンテストの運営、インテリアの制作活動などが予定され、ゼミ生が主体的に企画実践することに挑戦していきます。

Q2：田中ゼミの魅力は？

温かい雰囲気が魅力です。ゼミでは、自分の暮らし方、生育環境、今までの経験、感じ方、考え方などの自分の意見を話すことが多いです。他者に伝えることを苦手意識なく楽しくできる人もいれば、勇気が必要で大きなエネルギーを要する人もいるはずです。ゼミ生同士、お互いを思いやることで、分からないこと、好きなこと、不安だと思うことを受け止め、支え合っています。

ゼミは4人＋田中先生！
花川キャンパスでのお花見の様子

暮らしにまつわる雑誌を
意識的に読むようになりました

Q3：今後の抱負を教えてください。

人生において楽に進むことはなかなか望みがたく、困難に直面することも多いです。そんな時、自分を助けてくれるのは学びだと思います。大学で得た知識がそのまま役に立つこともありますが、それ以上に困難を打開する考え方や発想、自分の気持ちの保ち方や人とモノとの出会いを得られると感じています。自分らしく好奇心や向学心を抱いた瞬間を大切に、人生と健康と住環境について考えていきたいです。

人間生活学部 食物栄養学科 石田ゼミ（担当教員：石田 しづえ 先生）

受講生

人間生活学部
食物栄養学科 4年
M.Rさん

Q1：石田ゼミではどのような学びや取り組みを行っていますか？

石田ゼミでは、2つのグループに分かれて活動しています。1つのグループは、札幌市が作成した保育所給食の献立を基に、食物アレルギーの特定原材料を使用しない代替食のメニュー考案を行い、もう1つは、札幌のテイクアウト専門店とコラボし、子育て中またはこれから親になる世代の女性を対象に、塩分控えめで野菜がたくさん摂れるサラダのメニューの考案を行っています。

Q2：石田ゼミの魅力は？

アレルギーの研究では最終的に完成したメニューを保育園に提案すること、子育て世代の食事支援の研究は開発した商品をル・トロワで発売することを目標としています。自分たちのやりたいこと、研究したことが形になって人に届けられることが石田ゼミの魅力だと思います。より良いものができるように、メンバー同士で意見を出しながら試行錯誤して試作や研究を進めていくのはとても楽しいです。

Q3：今後の抱負を教えてください。

各グループが目標に向かって納得のいく卒業研究ができるように全員で協力して研究を進めていきたいです。卒業研究を進めていくなかで、学外の方と関わり、自分たちの考えや研究を伝える機会があると思います。そのような機会には感謝の気持ちを忘れずに向き合っていきたいです。卒業研究で経験したことは将来必ず役に立つと思うので、経験したことを大切にして成長していきたいです。

人間生活学部 子ども教育学科 稲實ゼミ（担当教員：稲實 順 先生）

受講生

人間生活学部
子ども教育学科 3年
Y.Hさん

Q1：稲實ゼミではどのような学びや取り組みを行っていますか？

造形表現の基礎に関する資料を読み込み、その内容を要約して画用紙にまとめてお互いに発表し合うという活動を通して、基礎的な学びを深めています。また、「材料を軸としたものづくり」をテーマに制作活動のプロセスを通して、創意工夫や試行錯誤の大切さを学んでいます。併せて、材料・用具の使い方や指導のポイントなど、子どもたちに身に付けてほしい力についても学んでいます。

Q2：稲實ゼミの魅力は？

自分が幼少期に遊んだ懐かしのものから初めて作るものまで、様々なものを制作するので制作活動が好きな人にとてもおすすめのゼミです！制作活動以外にも、春には大学の敷地内でお花見をしたり、ゼミ生の誕生日には誕生日会をしたり、全員で集まって食事会をしたりと様々な活動を楽しみながら行っています。ゼミのモットーは「どうせやるなら楽しく」です！

Q3：今後の抱負を教えてください。

今後の大きな活動として秋に控える大学祭に向けて、ゼミ生全員で子どもたちが楽しめる大型ゲーム盤を鋭意制作中です！その他にも実際に幼稚園・小学校を訪問しての授業見学なども計画しています。活動を通して、子どもたちの姿を想像し、どうすれば子どもたちとの距離を縮められるか、子どもたちにどのような力を身に付けてもらうかなどを検討しながら、将来自分たちの職に生きる力を身に付けていきたいと考えています。

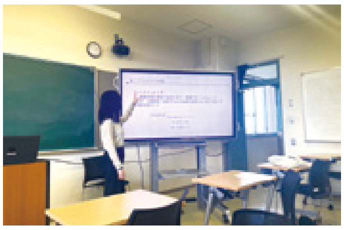
教職課程「教育制度論」（担当教員：高嶋 真之 先生）

受講生

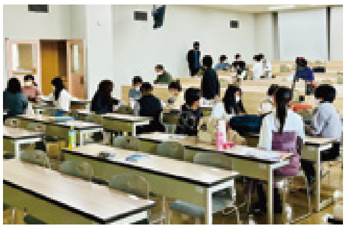
人間生活学部
人間生活学科 3年
T.Nさん

Q1：「教育制度論」の授業ではどのような学びや取り組みを行いましたか？

教育制度を知識として覚える・暗記するというよりも“教育制度に対する自分の考えを深める授業”です。各回のテーマごとに教育制度の成り立ちや実態などの概要を学び、それに関する論点を先生が私たちに示してくださいます。私たちの思考のきっかけやヒントになるようなHPや論文などの文献の抜粋があったので、複数の視点から教育制度について考えることができました。



模擬授業の様子



教職課程講演会の様子

Q2：授業を通じて興味・関心を持ったことは？

この授業を通して、今まで遠い存在だった法律や制度を身近に感じることができました。そう思えたのは、授業で教育に関する憲法や法律に触れ、自らの体験してきた学生生活の基盤となっているということを実感できたからです。この授業で、教育制度のみならず国や世界で定めている仕組みやルールの根本に興味を持ちました。成人した一人の大人として、引き続き視野を広げていきたいです。

Q3：今後の抱負を教えてください。

教育制度に対する自分の考えを深めたように、当たり前にあるものに対して「なぜ？」の視点を大切にしながら、自分の考えをしっかりと持ち、主体的に動けるような社会人になれるよう努力したいです。教職課程だけでなく、学科のプロジェクトマネジメント専修の授業やゼミの活動、さらに就職活動と、自分の選択した道は盛り沢山ですが、自主的に学ぶことを心掛けて楽しく頑張ります！

シリーズ
Fuji's roots
藤のルーツ

第17回　高等教育への道

理事長　Sr. 永田　淑子

　前回記しましたように、終戦直後から日本における教育行政の方針は、GHQの指導のもと、軍国主義教育から個人の教養を高めて科学的思考力を育て、平和を愛する国民を育てる教育に変化しました。

　また日本における戦後の教育で力を入れられたのが、女子教育の振興であり、女子の高等教育が求められました。その文部省方針に沿った形で、さらに働く男性の不足の中で国の再建を担う女性を育てるため、藤は1947年に北海道で最初の女子専門学校を設立しました。3か年課程の藤女子専門学校で、国語科と生活科（定員各50名）を設け、国語科教員と家庭科教員を養成しました。この第一回生たちは、卒業の折に教員免許のために国家試験を受けなければならず、全員が合格すれば翌年から教職課程履修者は国家試験が免除になるということで、後輩のためにも必死に頑張った結果、めでたく全員合格の快挙を成し遂げました。この時に得た免許によって、生涯、教員を続けた先輩もいらっしゃいます。

　1949年に新学校制度による四年制の新制大学が発足し、藤はその前年に北海道議会の後押しを受けて、藤女子大学を設立する構想を文部省に事前申請をしましたが、非とされました。それを告げる文書（1949年2月21日付）には、「目下文部省では2年制または3年制の大学を設置できるように検討中であるから、遠からずこれによって切り替えられる道も開かれると予想されるので念のため申し添える」と記されていました。1949年8月に短期大学設置基準が定まり、これに向けての申請が許可され、藤女子専門学校は藤女子短期大学へと発展しました。専門学校は２回の卒業生計175人を出し、短大に移行。

　北海道内におけるこの新制大学設置運動は、北海道大学、小樽商科大学、室蘭工業大学、帯広畜産大学、北海道学芸大学の国立5大学にとどまりました。私立では酪農大学、藤女子大学、天使女子大学が申請しましたが、いずれも不認可となりました。GHQの指導もあり、原則的には旧制高校の4年制大学への昇格と、戦後新設の専門学校の短期大学化を目指した文部省の基本方針によると思われます。北海道の場合、北海短期大学、藤女子短期大学、天使厚生短期大学、北星女子短期大学、札幌短期大学、酪農学園短期大学が1949年に認可され、1950年の開校です。藤は「英文科」「国文科」「生活科」の3学科。各定員50名で発足し、翌年家政科のみ100名に定員増をしました。

後列左から：矢野隼輔、竹森健夫、安延三樹太、宇野親美、広瀬京一郎、市川三枝、山北タツヱ

前列左から：牧野しおり、山鳥ウサ、永井一夫、牧野キク、クサヴェラ・レーメ、ベルヒマンス・メーレル、米谷智恵

藤の高等教育初期の教員たち

ホームページをリニューアルいたしました

　2023年5月より、藤女子大学及び学校法人藤学園のホームページが新しくなりました。サイト全体の情報を全面的に整理すると共に、本学の研究活動や地域・社会との活動などをよりわかりやすく紹介したり、教員紹介ページではこれから大学で学ぶ方へのメッセージを掲載したりと、様々な情報を加えてリニューアルいたしました。

　今後も、本学をより知っていただけるようにホームページを通じて積極的に情報発信を行いますので、ぜひご活用ください。

こちらから
ご覧ください

発行　藤女子大学　　編集　広報「藤」編集委員会
北16条キャンパス　〒001-0016 札幌市北区北16条西2丁目　TEL（011）736-0311　FAX（011）709-8541
花川キャンパス　〒061-3204 石狩市花川南4条5丁目　TEL（0133）74-3111　FAX（0133）74-8344
ホームページアドレス　https://www.fujijoshi.ac.jp